

会 議 録

会議の名称	令和7年度第1回本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会
開催日時	令和7年7月2日（水） 午前・午後 2時 分から 午前・午後 3時 分まで
開催場所	早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターN206会議室
出席者	（委員）川尻委員、雉岡委員、塚越委員、芦澤委員、長崎委員、佐々木委員 （事務局）下野戸教育長・笠原事務局長・小川課長・森課長補佐・古沢主査
欠席者	（委員）高月委員、内田（英）委員、内田（大）委員、野中委員
議題 （次 第）	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 挨拶 4. 委員長・副委員長選出 5. 議事 （報告事項） 第1号 令和6年度事業報告・令和7年度事業計画 資料1・資料2 6. その他 7. 閉会
配付資料	① 次第 ② 本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会委員名簿 ③ 年報（令和6年度事業報告） 資料1 ④ 令和7年度事業計画 資料2 ⑤ パンフレット類（令和6年度発行）
その他特記事項	
主管課	本庄市教育委員会事務局文化財保護課

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局（文化財保護課長）	本日はご多忙のところ、令和 7 年度第 1 回本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。私、進行を務めさせていただきます本庄市教育委員会事務局文化財保護課長、本庄早稲田の杜ミュージアム館長を兼務しております小川でございます。 令和 7 年度本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会を開催させていただきます。お手元の次第により説明させていただきますので、ご協力をお願いいたします。 ご連絡申し上げます。高月委員、内田（英）委員、内田（大）委員、野中委員より、欠席のご連絡をいただいております。 ここで本日の会議につきまして、ご報告でございます。「本庄早稲田の杜ミュージアムの設置および管理に関する条例」第 19 条の規定により、本会議の開催は、過半数の出席が必要でございます。本日 10 名中 6 名の出席がございましたので、成立となっております。 本日の会議でございますが、「本庄早稲田の杜ミュージアム設置および管理に関する条例施行規則」第 8 条の規定に基づき、公開とさせていただきます。なお、傍聴希望の方はいらっしゃいませんでした。 会議に先立ちまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。 （配布資料の確認） 不足不備等ございませんでしょうか。 （なし） 続きまして、次第 2 委嘱状交付でございます。 当委員会における委員の任期といたしましては昨年 10 月 15 日から新たに任期が始まっておりますが、今回が初めての会議となりますので、皆様に委嘱状を交付させていただきたいと思っております。 順次お名前をお呼びいたしますので、その場でお立ちいただき、教育長から委嘱状を受けていただきますようお願いいたします。

	(教育長より委嘱状の交付) 本運営委員会の任期は2年間、令和8年10月14日までとなっております。 また、本日ご欠席の方々ですが、会議の資料とあわせ、後日、事務局より委嘱状を交付します。 続きまして、次第3 挨拶でございますが、開会にあたりまして、下野戸教育長よりご挨拶申し上げます。
教育長	改めましてこんにちは。 本日はお忙しい中、令和7年度第1回本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会にご出席をいただきまして大変ありがとうございます。 本庄早稲田の杜ミュージアムは、令和2年10月15日の開館から約4年8ヶ月、もう少しで5周年ということになります。この間、ご案内の通り新型コロナウイルスという、大きなそういうことがありまして、なかなか大変な時期もございましたけれども、今現在、市内外からですね、8万人を超える方々にご来館をいただいております。これもひとえに皆様のご支援、ご理解、ご協力のたまものであると深く御礼申し上げたいと思います。 当館は様々な地域の方にご来館いただいておりますし、様々な年代の方にご来館いただいております。その中でも特に本市で育つ子どもたちの郷土学習の場として、地域の歴史、あるいは文化を見つめ直す場、あるいはまた文化を発信する場というふうに考えている施設でございます。周辺自治体等とも連携を図りながら、地域の文化拠点として、そういう役割を果たすことで、認知度がどんどん広がってきたのかな、というふうに考えております。また、当館は早稲田大学との官学共同という運営でございまして、今後もこの共同運営の強みというのを生かした展開を図ってまいりたいと思います。 また、あの資料の中にありますけれども、現在、企画展「演劇博物館出張展示 昭和100年 演劇・映画ポスター展」を早稲田大学展示室でやっておりますので、ぜひお時間がありましたら、いやもう見たよという方もいらっしゃるかなと思うんですけど、ぜひ足をお運びいただければと思います。引き続きご来館の皆様にご満足いただけるよう、皆様の期待に応えられるよう努めてまいりますので、本日は、高い識見あるいは広い識

	見をお持ちの皆様に、忌憚のないご意見を賜りたいと思います。 簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
事務局（文化財保護課長）	ありがとうございました。 進めさせていただく前に、本日は本年度 1 回目の委員会でございますので、ここで、委員の皆様方から自己紹介の方いただきたいと思います。それでは恐縮でございますが、また名簿の順で、塚越委員よりお願いいたします。 （委員 自己紹介） 続きまして事務局ですが順に自己紹介をさせていただきます。 （事務局 自己紹介） 続きまして次第 4 委員長・副委員長選出でございます。委員長・副委員長選出につきましては、「本庄早稲田の杜ミュージアムの設置および管理に関する条例」第 18 条第 1 項において、「委員会に委員長および副委員長 1 名を置き、委員の互選によりこれを定める」と規定されております。この規定に基づきまして、皆様に委員長・副委員長選出していただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。選出にあたりまして、選出区分・お名前・団体名等はお手元の名簿をご覧ください。 なお委員長の選出につきましては、下野戸教育長の進行により進めさせていただきますので、ご了承ください。 よろしくお願いいたします。
教育長	それでは、委員長が決まりますまで司会を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。 先ほど事務局からご説明させていただきましたとおり、規則により「委員長は委員の互選により定める」と規定されております。 委員の皆様にご意見はございますでしょうか。 （「事務局一任」の発言あり） では事務局一任とのご意見ございましたので、事務局の考えを聞いてみたいと思います。 それでは事務局お願いします。

様 式

事務局（文化財保護課長）	事務局からは、川尻秋生委員に委員長をお願いしたいと考えておりますが、いかがでございましょうか。 （拍手多数）
教育長	ではご承認をいただいたということで、ありがとうございます。 委員長につきましては川尻委員にお引き受けいただくことで決定させていただきます。 委員長が決まりましたので、私はこれで進行の任を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。
事務局（文化財保護課長）	ありがとうございます。 それでは、川尻委員長、申し訳ございませんが前方の委員長席に移動をお願いしてよろしいでしょうか。 早速でございますが、委員長に就任されました川尻秋生委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。
川尻委員長	（就任のあいさつ）
事務局（文化財保護課長）	続きまして、副委員長の選出をお願いいたします。 なお議事の進行は「本庄早稲田の杜ミュージアムの設置及び管理に関する条例」第 19 条第 2 項の規定により、委員長が議長となつて行ふこととなっておりますので、川尻委員長をお願いしたいと存じます。よろしくお願いします。
川尻委員長	それでは副委員長の互選ということで今から進めたいと思います。 どなたか自薦、立候補される方いらっしゃいますでしょうか。 （なし） なければそれでは、互選ということでお願いいたします。 （なし）
事務局（文化財保護課長）	ないようであれば事務局からご提案をさせていただいてよろしいでしょうか。 事務局からは、雉岡委員をお願いをしたいと考えておりますが、いかがでございましょうか。 （拍手多数） では雉岡委員をお願いいたします。

	よろしくお願いいたします。
雉岡副委員長	(就任のあいさつ)
事務局（文化財保護課長）	ありがとうございました。 それでは次第5 議事に移ります。議事に係る進行につきましては、「本庄早稲田の杜ミュージアムの設置および管理に関する条例」第19条第2項の規定によりまして、委員長が議長となつて行うこととなっておりますので、ここからの進行につきましては川尻委員長にお願いを申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。
川尻委員長	それでは、次第に従つて進めたいと思います。 報告事項「第1号令和6年度事業報告、令和7年度事業計画」について事務局から説明をお願いします。
事務局	令和6年度事業報告・令和7年度事業計画 (資料に基づき説明)
川尻委員長	事務局からの説明について、何かご質問、ご意見ございませんか。
雉岡委員	私は教師でしたが、本当は学芸員になりたいくて、学芸員実習を嵐山の歴史資料館でやりました。今回、当館で博物館実習をやっており、あるいは「こども学芸員講座」で、学芸員が、今すごく、魅力的で、市町村にしながらその地域の歴史研究することができる。私は教員のかたわら研究もやりましたけど、やっぱり全く別の問題だと思います。ですので、「こども学芸員講座」等について、ちょっとお聞きできたらなと思ったんですけど。
事務局	今年度の学芸員実習ですが、実は去年の暮れから年明けにかけて2、3、電話でのお問い合わせがありました。その時に、4月になりましたら募集いたします、と回答しました。ですので、需要はあると思われますが、募集をかけてからは問い合わせも何もありませんでした。当館としては学生の夏休み期間中に実施する予定でしたが、今年度は中止となります。ちなみに令和4年度に実習来た方が最後で、令和5、6、7年と、3年中止となります。 「こども学芸員講座」は小学生対象に、毎回コースごとに10名ずつの定員を設けてますが、毎回たくさんの方に参加いただいています。昨年度は年報に記載あるように、本物の土器片を使つての土器洗い、乾拓・湿拓、ほかにも真孤を使つて計測してその図を書いたり、等行いました。楽しそうにやっていただいて、また来年も来たいって言っていただいた方もいまし

	た。「こども学芸員講座」は7月1日の広報に掲載、7月18日から募集開始しますので、今年も子どもたちには来ていただけることを期待しています。
川尻委員長	その他いかがでしょうか。
芦沢委員	私も前から、子どもが学芸員したりとか。例えばこの館に来て、夏休みとか季節限られてしまうと思うんですけども、入ってきたときに、説明する子どもが1人いて、その子どもが来館者に、子どもなりの説明ができる、そこまで来ればいいかなと思います。 やっぱり、そういう子どもたちを育てるにはどうしたらいいかという、多分ここへ何度も来てもらうことではないかと。「心豊かな会」でも、連れてきたら「前も来たよ」とか言う子もいましたけども、来たときに何か、入場カードにちょっとハンコをもらって、そのハンコがずっと続いてくると、ある程度学芸員に近づくというような、そんな何か継続したような、そのカードを計画するっていうんですかね。 ただ単発で来るんじゃなくて、「僕は学芸員になるために、こういうときに来た、こういうときに来た」ということでそれを証明してあげておいて、そしてそういう子たちをちょっとイベントのときに説明の係ですとか、させていく。そうするとそういう姿を見ながら、「誰ちゃんはこういうことをやってる、僕もこういうことをしてみたいな」って思うかもしれません。そういう一つの事例を作っていくこともいいのかなと思います。 また、学校等の参加状況を見たんですけど、本庄市内の学校、全部来るということではないので、教育長さん、ここまで来るのに遠い学校もあると思いますので、来やすいように、手配・配慮していただければ、子どもたちも来るのかなと思います。学習でもね、高学年が学習するわけですから、そこで、していただいたらよろしいと思います。 もう一つは、私は「心豊かな子どもの会」をやっています。その子どもたちがここへ来て縄文土器を見たときに、私が質問したら、「おじちゃん、この時代はどういうのを食べてたの？ どういう支度してたの」という質問が最初にきたんですよ。 だから、土器がどうのこうのってよりも、この時代っていうのは自分たちと同じような生活してたのかな、どういう生活してたのかなっていうのが、子どもが興味持って、それでそのときにこの土器ってのはこうなんだよっていうのがまた学ぶことができるのかなと。 その辺のちょっと資料を提供していただけるといいのかな、と。食とか、衣食住ですよ。そういうものがあれば、こういう生活をしている中

	で、こういう土器を使ったんだとか、こういうものがあるんだとかっていうのが、子どもが視覚的にわかると、ここに来て子どもなりに、学んでいけるのかなと。ただ土器とか何かこう見せてこうなんだよと説明を受けても、なかなか小学生には難しい面があるのかなあ、と考えておりますので、ぜひとも、その生活の様子と合わせながらね、ちょっと学校の子どもたちが来たら、説明していただけると助かるかなと思います。 以上です。
事務局	まず、学校、子どもさんたちに来ていただく方法ですが、ミュージアムで費用を持ちまして、バス借り上げを行い、市内の小・中学校に募集をし、来ていただけてます。複数学年来てくださる学校と、単学年の学校がありますので、年報上は学校数より多く、20 団体ほどお越しいただいております。今年度もその事業は行っており、5月から来ていただけてまして、市内の小・中学校の来館予定が全部で 21 団体ございます。
川尻委員長	その他いかがでしょうか。
佐々木委員	48 ページの本庄高等学院の連携事業、具体的にどういことを行っておりますでしょうか。
事務局	早稲田大学本庄高等学院から、学芸員や教職を目指す学生さんが学芸員実習のように来たい、ということで申し出いただきまして、学校側が希望者を募集しています。夏休み中、当館では毎週土日とお盆にワークショップを行っているので、そこに来ていただいて、ワークショップ参加者、特に子どもさんへの手ほどきをしていただけてます。また学生には、当館の職員が館内の説明をして、来館者からの質問対応もしていただけています。去年は 7 名参加で、その前の年は 20 名近い方が参加しました。1 人が 1 回ではなくて 2 回・3 回と来ていただく方もいますので、延べにしますと 30 人とか 40 人の人数になります。
佐々木委員	お手伝いって具体的に何をやってるんですか。
事務局	教育普及事業のところにワークショップというのが各種ありますが、来館者に行っていただけてます。場所は当館の 1 階のエントランスホールで、去年ですとトートバッグづくり、缶バッジづくり、マグネットづくり等行いました。それを、参加者に「こういうふうにするんだよ」等、特に子どもさんには個別に説明してもらったりとか、そういったことをやっていただいて、ほかにはうちの職員が学生に展示室の説明をいたしますが、1 回説明すれば大体覚えていただきまして、すぐそのまま来館者に説明し

	ていただけます。 そういった、学芸員のお手伝いとかお仕事をさせていただいてます。
雉岡委員	ちょっといいですか、関連して。 私は中学校の教員やってて、特に、中学・高校は、まさに職業を目指するという時期かと。そのなかで、学芸員目指したいっていう学生に向けて、せっかく早稲田大学の高等学院の生徒が来てくれているのなら、「早稲田大学高等学院生による学芸員」が博物館の解説とか、もっとアピールするとすごくいいのかなと。何しろ早稲田大学と本庄市が連携してるってのはすごくいいと思うし、早稲田大学っていうのはすごく奥深い素晴らしい、日本有数の大学ですので、大学の力をもっとお借りして、学問の道を切り拓く、そういうなんて言うか、生意気かもしれないですけど、良い話だったと思うんですが。ぜひその高等学院との連携をもっとアピールして、小学校、まあ中学校はやっぱり難しいと思うんで、小中高って繋がって、子どもたちにとって校外学習の、理想かもしれませんが、基本的な、学校から一步、市内のある小学校が来てましたのを私見ましたが、そういう学校から一步出での学習の場所となって、生涯学習の、芦沢委員が言ってるようなそんな繋がってるような、すみません、まとまらなくて申し訳ないですが、本当にぜひその学芸員の講座・実習ありましたけど、やっていただければ。すみません、いろいろ言っちゃって。ありがとうございます。
川尻委員長	事務局の方で、今の何かありましたか。
事務局	昨年度ではありませんが、令和5年度のこども学芸員講座のときは参加者に、一般の来館者に対して解説する、そういったこともしてもらったことはあります。去年は、土器とか遺物の取り扱いでした。今年度、また来年度もこのこども学芸員講座を行う予定でありますので、そういった中でまたプログラムを見直していきたいと思います。
川尻委員長	その他いかがでございましょうか。 よろしいですか。
芦沢委員	全体的に見て、この内容、素晴らしい活動かな、と思います。 とにかく、あらゆる企画をして、それが緻密にね、計画通り実施されてるというのは本当に素晴らしい。どうしてもワークショップ的なものを行っている子どもたちのこと見るんですけども、先日もちょっと来た時にワークショップやってました。ああやってフリーに、子どもたちが来てパッと来てやれるっていうんですかね、要するにそういう環境がセット、用意

	されてないと参加できない。非常にきめ細かくですね、やっていただいてる、非常に素晴らしいなと、その一言だけ今日は言おうと思って。よろしくお願いします。
川尻委員長	その他いかがでございましょうか。 (発言なし)
川尻委員長	先ほどの学芸員実習なんですが、大きな大学はみんな自前で博物館、早稲田もそうですけども、持ってるので学外には行かないで済んじゃうんですね。実習の対象になるのはおそらく博物館を持っていない大学で学芸員講座を持ってる、課程を持ってる所なんですが、そうすると今は多分、教員がどこの博物館に、と割り振っちゃうんだと思うんで、学生が自分で探すってことはあまりないんですよ。もう非常に手厚くしてますので。我々の頃みたいに自分で探してくれ、ってことは、ないんだと思うんですね。 それを積極的に、もしおやりになりたいということであれば、そういう、博物館を持ってなくて学芸員課程をもっている大学に声をかけるっていう手はあるかもしれません。多分そうしないとそんなにたくさんは集まらないだろうと思うんですね。その博物館のない、学芸員課程を持ってる、そういう、史学科があるような大学が、実習の対象になるだろうということです。すみません余計なことを。 その他、何かございますか。質問等、よろしいでしょうか。
長崎委員	いろんな連携事業だったりとか、ワークショップ、講演会、年間を通じてとても行事数が多いなっていうのが正直な印象で、これだけ運営されるのかなり大変なんじゃないかなというように思いました。 また小学校は各学校がかなり来てるような状況で、心配になったのは本庄高等学院はちゃんと来てるんだろうか、という感じですね。近くでいつも歩いてるけど、目の前なんだけど、ちゃんと来てるのかなっていうのが逆に心配になったような状況です。 私も他市で文化財審議委員やっていますが、やはり中学生が難しい。小学校だと、上手く郷土学習みたいなところと組み合わせて、その単元前後のところに来てもらったり、行ったりっていう、出前授業をやったりっていうことがあるらしいですけど、中学生とうまく連携していくってのはなかなか難しいことなんじゃないでしょうか。 いかがでしょう。

事務局	実は来ていただかない中学校には、個別に、「他の中学校は来ていただいています」と、お声掛けをしています。それでも学校側にも諸事情あると思います、来ていただけていないんです。
雉岡委員	そうですね、一つはね私が教員の頃、大体8クラス、今はだいぶ減っちゃって4クラスくらいですよ。4クラスといっても、1クラス40人だと学年160人ですから、その160人ほど全部ね、博物館に興味があるかっていうと。それを選択していくときに、連れていく教員と残る教員と、教育課程がありますよね。そうすると余裕がなくて、教員はおそらく、分けて中学生を出すってことはできないと思うんですよ。だから、来るとすれば学年単位とかまとめてになってしまいます。しかも、市内大きな中学校だと学年が大体160人ぐらい、やっぱりバスだってチャーターしなきゃいけない、連れてくれば半日とかかかる、となると授業を潰してって形になりますので、なかなかそういうのは難しい。今、子どもさんの質はよくて、やっぱり学校自体の大きさがあるかなと思います。 その辺が難しいのかな。これは私の、一個人の感想です。 すいません生意気なこと言って。
川尻委員長	ありがとうございました。その他いかがでしょうか。
長崎委員	今のに付随してですが、段々中等教育の方も調べもの学習とか、そういったところが、かなり大学のように自分で調べて何かで発表してみたいなものが、かなり取り入れられているところなので、多分その辺で一番利用されるのは博物館なんかになって来るので、うまくそういう調べもの学習なんかと連携ができると、ますます学校から小学生・中学生がこうやってくる、質問がしたいとか、勉強したいんだけどどの本を見たらいいんだろう、というような相談場所の一つにはなっていくのかな、と、思いますので、何かその辺もう少しく見通しを立てておかれるといいのかなというふうに思います。
事務局	この年報には記載してないですが、昨年、中学生で「宿題なんです」と、調べ学習のようなもので来た方が実際にいました。なのでそういったところもちょっと広げていけたらいいのかな、と思います。
教育長	すみません、学校教育のことなので少し私の方からも。本当に長崎委員おっしゃっていただいたように、与えられたものを学ぶっていうよりも、自ら課題を見つけて、それをどう解決していくのか、あるいはどうプレゼンテーションしていくのかっていうことが、多分今の子どもたちは求めら

	れてることなので、ただ、なかなかそういう教育の質が変わってきてるっていうことを、先生自身がなかなか受け止めきれてないっていうのが、お恥ずかしい話ですけども、そういう現実もあるので、またこれも教育委員会も、教育の質の転換っていうものについては、折に触れて、話してはいるつもりですが、なかなかですね。
長崎委員	先生対象に説明会を、教育のいろんな場面で使えるものはこんなにありますよっていうことを先生方にわかっていただくみたいなことは大事なかもしれない。
教育長	地元の子どもたちが知らないのと同じぐらいに、地元の学校の先生たちがどれぐらい本庄市の、教育上やいろんな財産を知っているのかっていうところが、ちょっとお恥ずかしいですけども、またちょっとここの問題とかがあるのは事実かなと思いますので、そこはもうタッグを組んでやっていきたいと思っています。
川尻委員長	私、以前、博物館にいたところで、夏休みの終わりに子ども相談会っていうのをやってまして。そこは自然史とか、植物とか岩石とかそういうのもありまして。そういうところだと何か自分で拾ったものを持ってくるとか、夏休みしかないお手伝いみたいなのをやったりしてます。その時期が夏休みの終わりがいいのかどうかわかりませんが、そういう、イベントをやったことがあります。 それからもう一つは教員の研修会に呼んでもらって、10分でも20分でも、こういう博物館があつてこういうことやってますっていうのを、こうアピールしていくと、興味もってくださる、そういうこともやったことありますので、ちょっとまたお仕事が増えることになるんですけど、方法としてはそういうことがあると思います。
雉岡副委員長	私は地元で社会科の教員やってまして、教育研修会は夏休みに結構あったんですよ。今やってるかどうかわからないですが、やっぱり社会科教員だけでも、研修会は、博物館で位置づけていただいて。もう一つはね、これやっぱり私がこだわってるかもしれないけど、塙保己一記念館の職員がすごい調べてるの、実は。ちょっと余談になっちゃいますけど、今、ミュージアムも展示（「改革の時代」の本庄）やってますけど、「べらぼう」の時代に、実は保己一が生きてます。鳥山検校が闕所になると、あれを改革してるんですよ、塙保己一が。記念館職員はそのことを全部調べています。今、国会図書館とかで全部インターネットで調べられるそうです。 だから、本当にね、なんて言うのかな、もちろんこの考古学もすごく

	て、本庄市ではもう、川尻委員がおっしゃってましたけど、古墳時代の、もう縄文時代もずっとありますよね。ぜひ、私は社会科の教員を対象にした博物館の研修会っていうのを企画していただいて、教育長に生意気言って申し訳ないですけど、なんかそういう連携していただいて、まずは学校の先生っていうのは確かにいいのかなと思います。本当に我々でも思いつき言って申し訳ないですけど、ぜひこれを。私ははっきり言って、県北で一番の博物館だと思っていますので、熊谷、深谷には絶対負けないう博物館でありますので、ぜひよろしく願いいたします。
川尻委員長	ありがとうございました。 その他いかがでございましょうか。 よろしゅうございますか。 それでは、本件につきましてはここまでといたします。 これで本日の議題は終了となります。 それでは進行を事務局にお返しいたします。 議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。
事務局（文化財保護課長）	ありがとうございました。 委員長を務めていただきました川尻委員長に御礼申し上げます。 ありがとうございました。 次に次第 6 その他、事務局よりご連絡申し上げます。
事務局	1 点目、本日の会議録をとりまとめまして、後日皆様にお送りします。内容をご確認いただき、記載内容に修正等ある場合には、事務局までご連絡ください。その連絡方法ですが、できれば電子メールでさせていただければと思います。今回の委員会開催通知が郵便で届いた方で、メール使用可能な方は、後ほどアドレスを事務局までお教え願えれば幸いです。よろしく願いいたします。 2 点目、今年度の運営委員会の開催ですが、現時点では予定はありません。今後、教育委員会等から諮問がありまして、開催が必要となりましたら改めて通知をいたしますので、よろしく願いいたします。 今後の運営委員会の予定ですけれども、昨年度の令和 6 年度に、令和 4 年度・5 年度の 2 ヶ年の事業評価をさせていただいております。ですので、今後もこの 2 年ずつというペースで、令和 6 年度・7 年度の 2 ヶ年の事業評価を来年度、令和 8 年度に実施したいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。 最後に、本日の報酬、公務でご出席の委員を除きまして、報酬 6,200 円、源泉徴収いたしまして、5,660 円をご指定の口座に振り込みさせてい

様 式

	たきます。8月の半ばぐらいまでには振り込み可能かと思しますので、通帳でご確認をお願いします。 以上です。
事務局（文化財保護課長）	続きまして次第7 閉会でございます。 雫岡副委員長にお願いしたいと思ひますよろしくお願ひいたします。
雫岡副委員長	今日は本当に皆様に会議のご協力をいただきましてありがとうございます。 貴重な意見をいただきました。本当に私も勉強になりました。 今後ともよろしくお願ひいたします。 今日は本当にありがとうございました。
事務局（文化財保護課長）	ありがとうございました。 以上をもちまして、令和7年度第1回本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会全ての会議終了といたします。 これにて閉会いたします。 ありがとうございました。 なお、早稲田大学展示室で、「演劇博物館出張展示 昭和100年 演劇・映画ポスター展」をしておりますので、時間に余裕がございましたらぜひご覧いただければと思ひます。 ありがとうございました。